

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>0 建築物の環境品質</b>								<b>3.6</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>					<b>3.8</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.0</b>	0.15	<b>2.9</b>	1.00			<b>2.9</b>
<b>1.1 騒音</b>		<b>3.0</b>	0.50	<b>2.0</b>	0.50			
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	1.0	0.50			
2 設備騒音対策		-	-	3.0	0.50			
<b>1.2 遮音</b>		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.8</b>	0.50			
1 開口部遮音性能	住居部分 開口部T2・T3仕様	3.0	1.00	5.0	0.30			
2 界壁遮音性能	界壁 R C壁厚180でDr45確保	-	-	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	Lr-50確保するポイドスラブ厚を採用する。	-	-	4.0	0.20			
<b>1.3 吸音</b>		-	-	-	-			
<b>2 温熱環境</b>		<b>1.0</b>	0.35	<b>5.0</b>	1.00			<b>4.2</b>
<b>2.1 室温制御</b>		<b>1.0</b>	1.00	<b>5.0</b>	1.00			
1 室温		-	-	-	-			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能	省エネ等級4確保	1.0	1.00	5.0	1.00			
4 ゾーン別制御性		-	-	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
<b>2.2 湿度制御</b>		-	-	-	-			
<b>2.3 空調方式</b>		-	-	-	-			
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.3</b>	0.25	<b>3.7</b>	1.00			<b>3.6</b>
<b>3.1 昼光利用</b>		<b>4.2</b>	0.30	<b>3.4</b>	0.50			
1 昼光率	風除室の昼光率2.5%以上、住居部分の昼光率2.0%以上確保	5.0	0.60	5.0	0.50			
2 方位別開口		-	-	1.0	0.30			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
<b>3.2 グレア対策</b>		<b>3.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.50			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御	住居部分には、カーテンレール及び庇あり。	3.0	1.00	4.0	1.00			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
<b>3.3 照度</b>		<b>3.0</b>	0.15	-	-			
<b>3.4 照明制御</b>		<b>3.0</b>	0.25	-	-			
<b>4 空気環境</b>		<b>3.2</b>	0.25	<b>4.3</b>	1.00			<b>4.1</b>
<b>4.1 発生源対策</b>		<b>4.0</b>	0.60	<b>5.0</b>	0.63			
1 化学汚染物質	F をほぼ全面に使用し、住戸についてはホルムアルデヒド以外のVOCについても放射量が少ない建材を全面的に採用	4.0	1.00	5.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
<b>4.2 換気</b>		<b>2.0</b>	0.40	<b>3.3</b>	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能	バルコニー面に十分な換気を確保できるはき出しサッシを設置	-	-	4.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	3.0	0.33			
4 給気計画		-	-	-	-			
<b>4.3 運用管理</b>		-	-	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御		-	-	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-			<b>3.5</b>
<b>1 機能性</b>		<b>4.6</b>	0.40	<b>3.8</b>	1.00			<b>3.9</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>		<b>3.0</b>	0.40	<b>4.0</b>	0.60			
1 広さ・収納性		-	-	-	-			
2 高度情報通信設備対応	各住戸まで光ケーブル接続可能な設備とする	-	-	4.0	1.00			
3 バリアフリー計画	バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準を満たした計画とした	4.0	1.00	-	-			
<b>1.2 心理性・快適性</b>		<b>5.0</b>	0.30	<b>3.5</b>	0.40			
1 広さ感・景観	代表的な居室となるLDの天井高を2.5mとする	-	-	4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-			
3 内装計画	石や木調素材でリビング的な演出をし、パースで事前検討を行っている	5.0	1.00	3.0	0.50			
<b>1.3 維持管理</b>		<b>5.0</b>	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	ゴミ置場: 壁・床はエスケー化研ミラクマウント同等品、エントランス: 床は防滑性のある磁器質タイル、廊下: 防滑性のある塩ビシートを使用	5.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保	各階掃除用水栓、バルブ・機器維持管理用点検口(天井・壁)設置	5.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.2</b>	0.31	-	-			<b>3.2</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>		<b>3.0</b>	0.48	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>		<b>3.6</b>	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級3相当	5.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	主要内装材: ビニールクロス(約20~30年程度)	4.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管_B(塩ビライニング鋼管)、汚水・雑排水管_B(耐火二層管)	5.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.23	-	-			

2.4 信頼性			3.2	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	通信手段の多様化、精密機械の地下空間の設置を避ける	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			2.8	0.29	3.4	1.00	3.2
3.1 空間のゆとり			-	-	3.8	0.50	
1	階高のゆとり	最低階高3.015mとする	-	-	5.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			2.8	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		2.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		まちなみにあった色調とし、植栽と照明計画により防犯効果も与えている	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	建物を後退し一部歩道として街並みと一体化した計画	4.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	緑地を確保し舗装面積を少なくすることで地表面温度の上昇を抑制する	4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.8
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.5
1 建物の熱負荷抑制		外壁断熱厚さ考慮により、省エネルギー対策等級4	5.0	0.40	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		潜熱回収型給湯器を使用	4.8	0.40	-	-	4.8
	集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)	#VALUE!	5.0		-	-	
	集合住宅の評価		4.8		-	-	
4 効率的運用			-	-	-	-	-
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水	節水コマに加え、節水型フラッシュ弁を使用	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.63	-	-	3.3
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	廊下長尺シート、ポータータイル	4.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げ材が容易に分別可能	4.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22	-	-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.68	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		省エネ等級4確保	4.1	0.33	-	-	4.1
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	住宅用駐輪場の他に店舗用駐輪場を設置し、路上駐輪の防止をする	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2	風害・砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制		3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策チェックリスト項目一部適用、広告物照明無し	4.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	